

議案第27号

東久留米市立学校薬剤師の解嘱及び委嘱について

上記の議案を提出する。

令和5年9月15日提出

東久留米市教育委員会
教育長 片柳 博文

記

<解嘱>

解嘱年月日 令和5年9月30日

学校名	区分	氏名	医院等名称
西中学校	学校薬剤師	若山 拓也	しもさと薬局

<委嘱>

委嘱年月日 令和5年10月1日

学校名	区分	氏名	医院等名称
西中学校	学校薬剤師	白井 苑子	しもさと薬局

(提案理由)

学校薬剤師の退職に伴い、新たに学校薬剤師を委嘱する必要がある。

議案第28号

令和5年度東久留米市一般会計（教育費）9月補正予算要求
（追加分）について

上記の議案を提出する。

令和5年9月15日提出

東久留米市教育委員会
教育長 片柳 博文

（提案理由）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、市長に教育委員会の意見を述べる必要がある。

令和5年度一般会計（教育費）9月補正予算要求（追加分）資料

総括表

【歳入予算】 単位:千円

国庫支出金	
都支出金	
諸収入	
計	—

【歳出予算】 単位:千円

教育総務費	
小学校費	
中学校費	
社会教育費	
保健体育費	△2,090
計	△2,090

《歳出予算に関わるもの》

1 スポーツセンター照明LED化事業（生涯学習課）
◎歳出 10 教育費 05 保健体育費 04 スポーツセンター費 01 スポーツセンター管理運営事業 12 委託料 △2,442 千円 合計△2,442 千円
（理由）スポーツセンターの照明について、当初は第一体育室とプールの照明を LED 照明へと交換する予定であり、5年度は実施設計委託を行うための予算が措置されていたが、新たな手法を検討した結果、実施設計や設置工事を含めたリース契約にて全館の照明を LED 照明へ交換することとなったため、不要となる実施設計委託に係る予算を減額する。 ※6年度以降の債務負担行為の設定あり

2 スポーツセンター空調機賃貸借（生涯学習課）
◎歳出 10 教育費 05 保健体育費 04 スポーツセンター費 01 スポーツセンター管理運営事業 13 使用料及び賃借料 352 千円 合計 352 千円
（理由）スポーツセンターに設置している空調機が経年劣化により停止したため、更新を実施するもの。以前より停止していた空調機と合わせ2台の空調機を更新する。 更新に当たっては、実施設計や設置工事を含めたリース契約とするため、賃貸借に係る予算を増額する。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果について I 正答率分布

■ 学力調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、
 ① 市教育委員会は、児童・生徒の学力の定着状況及び教育課程や指導方法等にかかわる課題及び解決策を明確にし、教育行政施策に生かす
 ② 各学校は、教育課程や指導方法等にかかわる自校の課題・解決策を明確にし、児童・生徒一人一人の学力向上を図る
 ③ 市教育委員会は、市民に対し、市立小・中学校における児童・生徒の学力の状況について、広く理解を求める。

■ 調査日時

令和5年4月18日(火)

■ 調査対象学年

小学校第6学年及び中学校第3学年

■ 調査事項

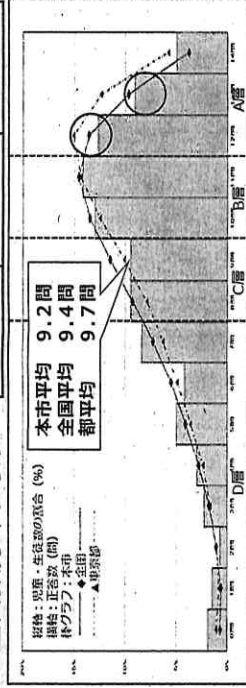
国語、算数・数学、英語(中学校)、質問紙調査
 ※ 英語は令和元年度以来4年ぶり2度目の調査

小学校 国語 (14問)

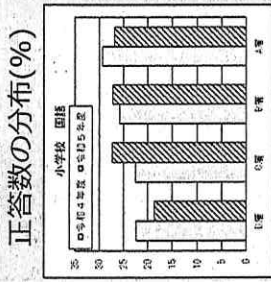
■ 平均正答率(%)

本市	66.0	全国	67.2	東京都	69.0
----	------	----	------	-----	------

■ 正答率分布グラフ



■ 四分位の正答率の分布(%)



■ 現状・課題

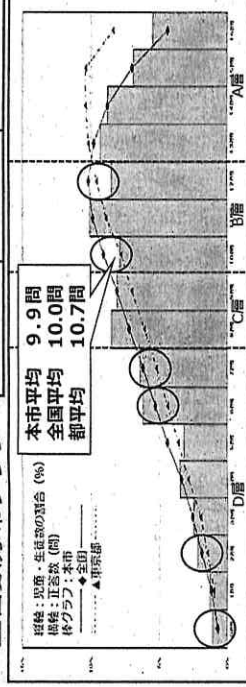
- ① 平均正答率は、66.0%であり、全国より1.2ポイント、東京都より3.0ポイント低い。
- ② 正答率分布グラフは、全国と同様に11問を頂点とした右寄りの山型を描いており、四分位のA層が属する12、13問の児童の割合が全国より低い。
- ③ 四分位の正答率は、令和4年度に比べてA、D層が減少し、B、C層が増加した。

小学校 算数 (16問)

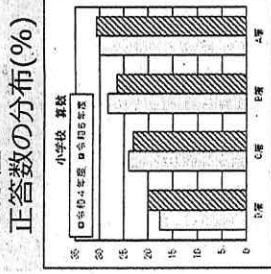
■ 平均正答率(%)

本市	62.0	全国	62.5	東京都	67.0
----	------	----	------	-----	------

■ 正答率分布グラフ



■ 四分位の正答率の分布(%)



■ 現状・課題

- ① 平均正答率は、62.0%であり、全国より0.5ポイント、東京都より5.0ポイント低い。
- ② 正答率分布グラフは、11問を頂点とした右寄りの山型を描いており、四分位のB層が属する10、12問の児童の割合が全国より低く、C層の0、2、6、7問の児童の割合が全国より高い。
- ③ 四分位の正答率は、令和4年度に比べてB、C層が減少し、A、D層が増加した。

中学校 国語 (15問)

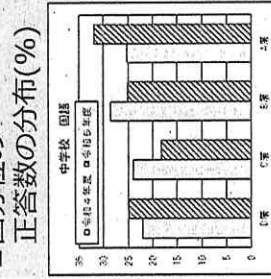
■ 平均正答率(%)

本市	69.0	全国	69.8	東京都	72.0
----	------	----	------	-----	------

■ 正答率分布グラフ



■ 四分位の正答率の分布(%)



■ 現状・課題

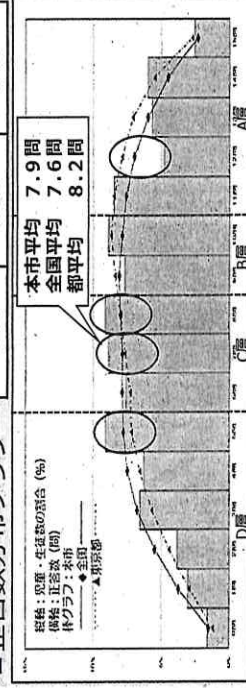
- ① 平均正答率は、69.0%であり、全国より0.8ポイント、東京都より3.0ポイント低い。
- ② 正答率分布グラフは、全国と同様に13問を頂点とした右寄りの山型を描いており、四分位のA層が属する14、15問の生徒の割合が全国より低い。
- ③ 四分位の正答率は、令和4年度に比べてB、C層が減少し、A、D層が増加した。

中学校 数学 (15問)

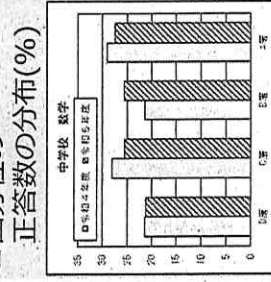
■ 平均正答率(%)

本市	52.0	全国	51.0	東京都	54.0
----	------	----	------	-----	------

■ 正答率分布グラフ



■ 四分位の正答率の分布(%)



■ 現状・課題

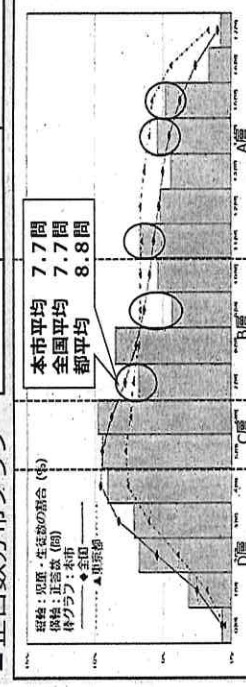
- ① 平均正答率は、52.0%であり、全国より1.0ポイント高く、東京都より2.0ポイント低い。
- ② 正答率分布グラフは、高原型を描いており、四分位のA層が属する12問の生徒の割合が全国より低く、C層の7、8問、D層の5問の生徒の割合が全国より高い。
- ③ 四分位の正答率は、令和4年度に比べてA、C、D層が減少し、B層が増加した。

中学校 英語 (17問)

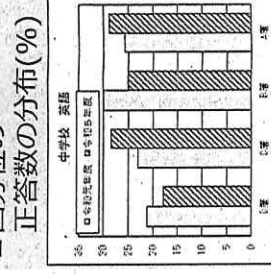
■ 平均正答率(%)

本市	45.0	全国	45.6	東京都	52.0
----	------	----	------	-----	------

■ 正答率分布グラフ



■ 四分位の正答率の分布(%)



■ 現状・課題

- ① 平均正答率は、45.0%であり、全国より0.6ポイント、東京都より7.0ポイント低い。
- ② 正答率分布グラフは、左寄りの山型を描いており、四分位のA層が属する11、14、15問の生徒の割合が全国より高く、B層の7、9問の生徒の割合が全国より低い。
- ③ 四分位の正答率は、令和4年度に比べてB、D層が減少し、A、C層が増加した。

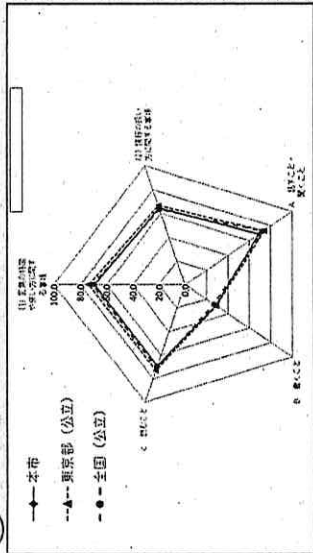
※ 四分位の正答率分布……正答率の多い順に整理し、25%刻みで4つの層分けを行ったものであり、上からA層、B層、C層、D層と呼称したものである。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（小学校 国語）

① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)	
	本市	全国
知識・技能	68.0	68.9
思考・判断・表現	63.2	65.5

② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本市	全国
知・技	69.4	71.2
思・判・表	28.3	26.7

現状・課題

- ① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は68.0%であり、全国より0.9ポイント、東京都より3.6ポイント低い。思考・判断・表現は63.2%であり、全国より2.3ポイント、東京都より3.8ポイント低い。
- ② 学習指導要領の内容の平均正答率は、知識・技能の「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」が69.4%、思考・判断・表現の「A 話すこと」が68.6%、「C 読むこと」が69.5%であり、全国及び東京都を下回った。
- ③ 調査の終盤の問題に無回答率が多く、質問紙調査において「調査時間が足りなかった」と答えていることから、調査時間内に十分取り組みなかつたと考えられる。

③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)		無解答率 (%)	
			本市	全国	本市	全国
1-1	米作りどきとき記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	知・技 2 情報の取扱い	65.7	64.7	5.3	1.8
1-2	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	思・判・表 B 書くこと	28.3	26.7	7.5	7.1
1-3 (1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（うがひ）	1 言葉の特徴や使い方	53.2	52.8	5.3	4.8
1-3 (1)イ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す（きかん）	1 言葉の特徴や使い方	72.8	72.6	7.9	6.7
1-3 (2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものと適切なものを選択する（くらべて）	1 言葉の特徴や使い方	90.5	93.1	2.5	1.0
1-4	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	1 言葉の特徴や使い方	80.6	79.8	4.9	2.0
2-1	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	88.6	90.0	3.5	1.2
2-2	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	思・判・表 C 読むこと	66.7	67.4	3.9	1.4
2-3	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものと適切なものを選択する	知・技 2 情報の取扱い	63.5	62.0	4.0	1.6
2-4	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	思・判・表 C 読むこと	53.3	56.2	9.2	8.5
3-1 (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア（～ということだと思えますが、合っていますか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	70.1	73.6	10.7	3.7
3-1 (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ（～というのは、どのような姿ですか。）のように質問をした理由として適切なものを選択する	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	71.2	74.0	11.3	4.1
3-2	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	思・判・表 A 話すこと・聞くこと	64.3	70.2	20.6	14.3
3-3	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	1 言葉の特徴や使い方	50.0	57.6	20.0	9.5

具体的な設問例（大問2四） C 読むこと

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめよう。

相田さんは、【資料1】、【資料2】、【資料3】を読み、運動と食事について分かったことをもとに、これから自分にできそうなことを考えてまとめようとしています。あなたならどのようにまとめますか。その内容を次の条件に合わせて書きましよう。

<条件>

- 資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。
- 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。
- 八十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

<正答例> 運動には病気を防ぐ力が高める効果があり、野菜やくだものは、体の調子を整えるものになることがわかりました。だから、わたしは、健康のために、毎日体を動かして、野菜やくだものを食べるようにします。（97字）

指導改善のポイント

条件があるにも関わらず、誤答の児童が食事又は運動に関する資料の内容や考えのみを書いている場合は、複数の情報を関連付けながら、自分の考えをまとめることに課題があると考えられる。

○ 着目した語句を確かめたり、その語句に着目した理由を問いつけたりして自分の考えを表現できるように指導する。

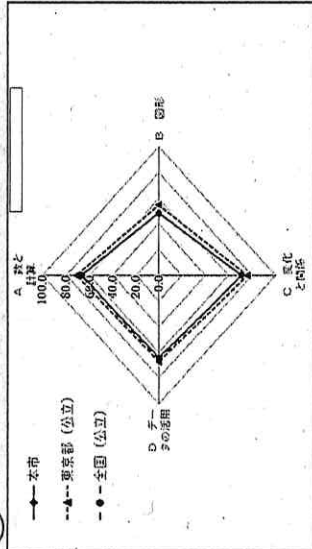
○ 「だから」「～で」など情報と情報との関係を表す語句や「思う」「考える」など思考そのものに関わる語句を例示する。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（小学校 算数）

① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率（％）	
	本市	全国
知識・技能	67.0	67.2
思考・判断・表現	55.8	56.5
	61.2	

② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率（％）	
	本市	東京都
A 数と計算	66.5	71.0
B 図形	48.8	54.8
C 変化と関係	70.8	75.8
D データの活用	64.2	67.3

③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率（％）		無解答率（％）			
			本市	全国	本市	全国		
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	知・技	92.5	93.5	94.3	1.0	0.8	0.9
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍にならないことについて、表の数を使って書く	思・判・表	89.5	88.5	90.9	0.5	1.0	1.2
1 (3)	椅子4脚の重さが7kgであることに基き、48脚の重さの求め方と答えを書く	思・判・表	51.9	55.5	61.7	3.4	3.4	3.5
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	知・技	81.3	80.8	82.5	1.1	1.2	1.3
2 (1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	知・技	55.0	59.8	65.0	0.8	0.7	0.9
2 (2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	知・技	86.8	87.2	89.6	2.5	2.9	3.3
2 (3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るべきのAの角の大きさを書く	知・技	28.7	24.9	35.2	4.4	3.7	4.2
2 (4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	思・判・表	24.6	20.8	29.5	3.9	4.0	4.6
3 (1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれの式が何を表しているのかを選ぶ	思・判・表	69.2	70.3	73.4	1.5	1.4	1.9
3 (2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルの欄に入れることができるかどうかを判断する	思・判・表	55.0	56.7	62.4	3.5	4.0	4.4
3 (3)	(151+49) × 3 と 151 × 3 + 49 × 3 を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	知・技	69.3	72.4	75.0	2.8	2.5	3.0
3 (4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	思・判・表	47.6	47.6	54.2	5.3	3.9	4.8
4 (1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	知・技	49.5	46.0	56.2	2.5	2.4	3.0
4 (2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	知・技	76.2	75.7	78.6	5.0	4.3	5.0
4 (3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分けることを選ぶ	思・判・表	53.1	56.2	56.0	15.0	13.8	15.9
4 (4)	二次元の表から、読み取ったことの特徴となる数の組み合わせを選ぶ	知・技	63.3	64.6	67.2	4.8	4.9	5.6

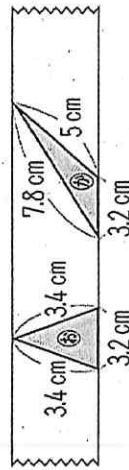
現状・課題

- ① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は67.0%であり、全国より0.2ポイント、東京都より4.5ポイント低い。思考・判断・表現は55.8%であり、全国より0.7ポイント、東京都より5.4ポイント低い。
- ② 学習指導要領の内容の平均正答率は、「A 数と計算」が66.5%、「C 変化と関係」が70.8%、「D データの活用」が64.2%であり、全国及び東京都を下回った。
- ③ 大問2(2)のように正方形の意味や性質について理解することはできているが、それらを活用して問題から必要な情報を見いだし、その理由を記述することに課題がある。

具体的な設問例（大問2（4）） B 図形

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を記述する。

えいたさんたちは、テープを直線で切って、下の図のような（お）と（か）の2つの三角形をつくります。下の（お）と（か）の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。



〈正答〉【番号】3

〈正答例〉[わけ] 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。（お）と（か）の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。（お）と（か）の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、（お）と（か）の面積は等しいです。

指導改善のポイント

誤答であった児童は、三角形の高さについて正しく理解できていない。又は、2つの三角形の高さが同じであるということに気付いていないと考えられる。

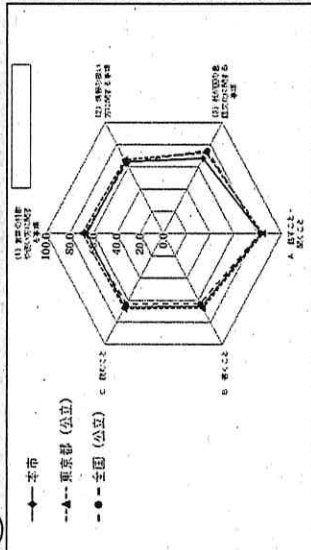
○具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるよう指導する。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題（中学校 国語）

① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)		
	本市	全国	東京都
知識・技能	66.4	69.4	70.1
思考・判断・表現	71.6	69.7	72.9

② 学習指導要領の内容の平均正答率



③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容 思・判・表 知・技	正答率 (%)			無解答率 (%)		
			本市	全国	東京都	本市	全国	東京都
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表	87.5	87.5	89.2	0.1	0.1	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	知・技	64.3	65.1	66.0	0.3	0.2	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表	76.6	76.6	79.2	0.1	0.2	0.3
1四	インタビューのまとめとしてどのようなかことを述べるのか、自分の考えを書く	思・判・表	85.9	82.5	84.7	8.7	10.8	8.7
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	知・技	93.2	91.1	92.5	0.3	0.2	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	思・判・表	66.8	63.0	67.4	0.3	0.4	0.5
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	思・判・表	76.0	74.2	77.8	0.3	0.3	0.4
2四	自分がかからぬように本を読んでいたかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	知・技 思・判・表	68.5	67.5	69.7	3.0	3.9	3.5
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	思・判・表	57.7	54.3	58.8	1.0	0.6	0.7
3二	漢字を書く（おし量って）	知・技	37.9	43.9	46.6	9.6	10.7	10.0
3三	「判じ絵」とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	知・技	65.8	61.8	66.3	1.4	2.1	2.1
3四	「判じ絵」の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	思・判・表	73.3	72.1	74.7	10.3	10.2	9.5
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	知・技	61.1	82.5	74.4	3.8	3.6	4.1
4二	原文の中の語句に対応する言葉で書かれた文章から抜き出す（いと）	知・技	74.0	74.1	75.1	4.0	4.8	4.9
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのようにならされているかについて、古典と比較して書く	思・判・表	51.8	50.0	54.1	19.5	20.7	18.1

現状・課題

- ① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は66.4%であり、全国より3.0ポイント、東京都より3.7ポイント低い。思考・判断・表現は71.6%であり、全国より1.9ポイント高く、東京都より1.3ポイント低い。
- ② 学習指導要領の内容の平均正答率は、知識・技能の(1)言葉の特徴や使い方に「関する事項」が65.6%、(3)我が国の伝統文化に関する事項」が67.8%であり、全国及び東京都を下回った。
- ③ 大問2一のように事象や行為、心情を表す語句について理解することはできていないが、大問3二のように文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

具体的な設問例（大問3二） (1) 言葉の特徴や使い方に「関する事項」

文脈に即して漢字を正しく書く。

——線部のひらがなを漢字に直し、楷書で丁寧に書きなさい。

(略)

■ 「判じ絵」とは何か

「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。ただし、【図1】のように、描かれているものと意味して異なるため、解読する際には「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おし量って考える」ことが必要になる。言ってみれば、なぜぞやクイズのようなものである。(略)



【図1】ザル

<正 答> 推 (し)

指導改善のポイント

「推(し)」などと解答した生徒は、「推し量る」という言葉になじみがないなど、文脈に即して意味を捉えることができず、同じ訓をもつ漢字を書いたものと考えられる。

○知識の習得だけでなく、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことができるよう指導する。

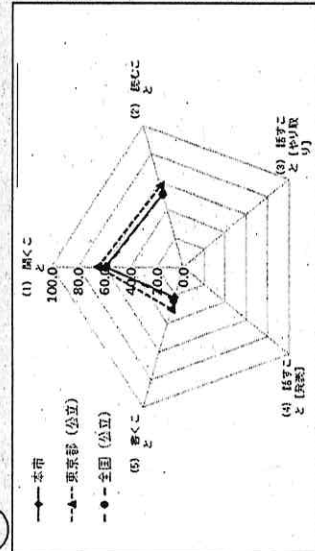
○文章で表す際、適切な漢字を選択できるような意味を確認したり、辞書を引いたりして文章を校正・推敲するよう指導する。

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅡ 各教科の結果及び課題(中学校 英語)

① 評価の観点の平均正答率

評価の観点	平均正答率 (%)	
	本市	東京都
知識・技能	49.7	51.5
思考・判断・表現	40.1	38.8

② 学習指導要領の内容の平均正答率



学習指導要領の内容	平均正答率 (%)	
	本市	東京都
(1) 聞くこと	59.2	64.7
(2) 読むこと	50.9	57.2
(5) 書くこと	21.4	23.4

③ 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容	正答率 (%)		無解答率 (%)	
			本市	東京都	本市	東京都
1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	知・技	75.7	83.1	0.1	0.1
1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	知・技	66.6	70.8	0.1	0.2
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	知・技	48.7	57.2	0.3	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	思・判・表	67.2	70.4	0.4	0.2
3	パーベキューバーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	思・判・表	43.5	46.7	0.3	0.3
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	思・判・表	53.8	59.9	0.8	0.4
5(1)	ある状況を描写する英語を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	知・技	57.8	61.4	0.1	0.3
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	知・技	60.7	70.2	0.4	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	思・判・表	36.4	44.1	0.4	0.3
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	知・技	57.0	65.6	0.4	0.3
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	思・判・表	37.3	40.0	0.8	0.7
8(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	思・判・表	56.3	62.0	1.2	0.8
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	思・判・表	19.7	25.2	25.2	29.3
9(1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	知・技	36.6	48.5	6.0	6.6
9(1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	知・技	16.2	27.4	10.7	10.9
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	知・技	28.2	36.9	22.8	24.5
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまじりのある文章を書く	思・判・表	6.5	10.1	18.5	21.4

現状・課題

- ① 評価の観点の平均正答率は、知識・技能は49.7%であり、全国より1.8ポイント、東京都より8.2ポイント低い。思考・判断・表現は40.1%であり、全国より1.3ポイント高く、東京都より4.7ポイント低い。
- ② 学習指導要領の内容の平均正答率は、「(2)読むこと」が50.9%、「(3)書くこと」が21.4%であり、全国及び東京都を下回った。
- ③ 調査の最終盤の「(5)書くこと」の問題に無回答率が多く、大問8(2)のように日常生活や身近な社会の話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。

具体的な設問例(大問8(2)) (5) 書くこと

社会的な話題に関して読んで読んで、考えとその理由を書く。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

<正答の条件> 次の条件を満たして解答している。

① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。 ② ①の理由を書いている。

<正答例> I agree with you. If robots do our housework, we will have more time. I don't agree with you because people will lose their job.

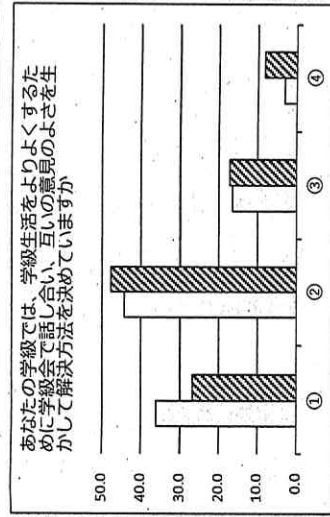
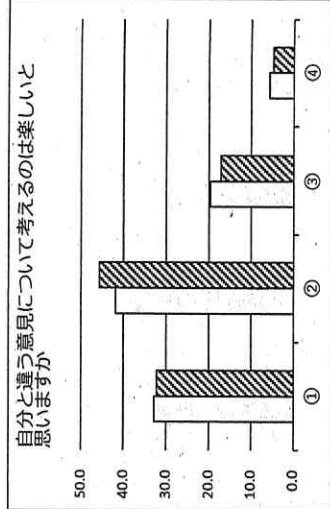
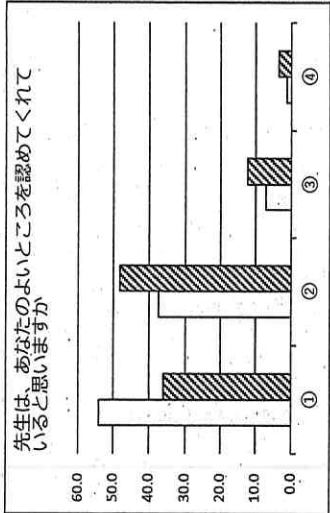
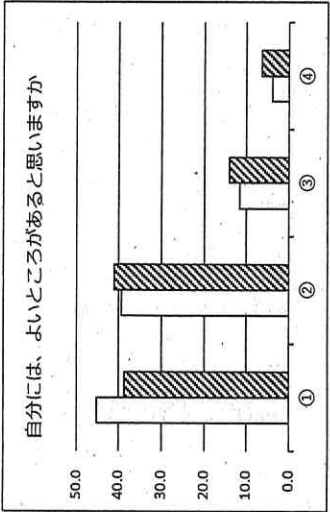
指導改善のポイント

書き手の意見を踏まえて英文を書くことに課題がある場合は、問題の意見文を読み取ることができていない、又は理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられる。

- 読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行う。



令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅢ 児童質問紙（学校生活全般及び生活習慣に関すること）

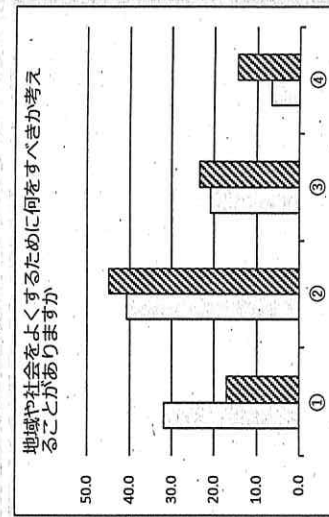
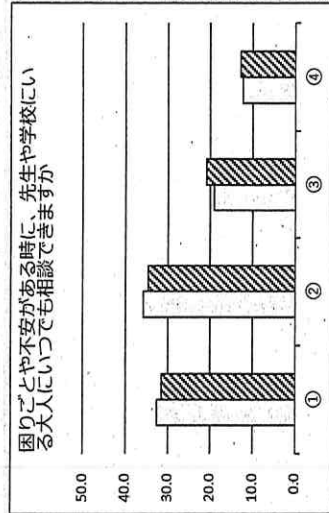
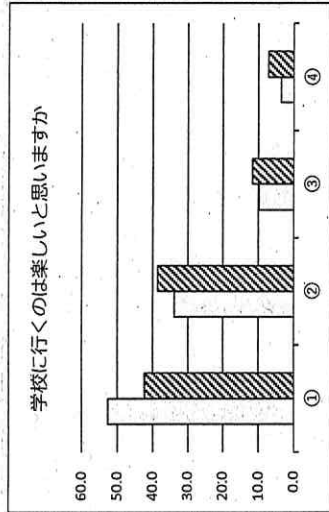


■現状・課題

小・中学校ともに自己肯定感の高い傾向にあり、教師から自分のよいところを認めてもらえていると回答している児童・生徒が多い。一方で、否定的な回答をしている児童・生徒が一定数いることから、結果だけでなく、過程を重視する指導を行い、「あきらめずに粘り強く生き抜く力」の育成を図ることが必要である。

■現状・課題

小・中学校ともに自分と違う意見について考えたり、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めたりすることに肯定的な回答をしている児童・生徒が多い。一方で、否定的な回答をしている児童・生徒が一定数いることから、他者と話し合い、妥当な意見を生み出したり、折り合いをつけたりする経験を積ませることが必要である。

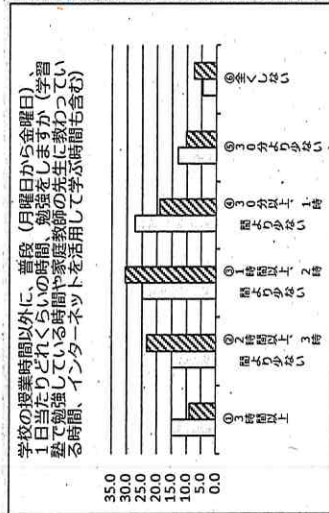
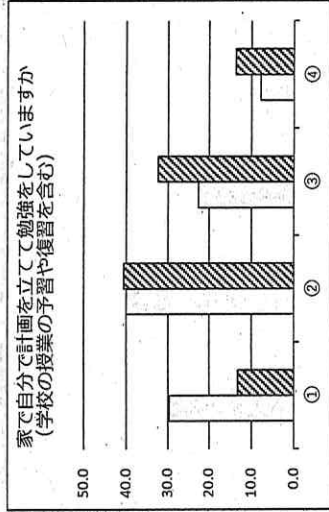


■現状・課題

小・中学校とも学校に行くことを楽しいと思っている児童・生徒が多い。一方で、困りごとや不安がある時に、教師や学校にいる大人にいつでも相談できると回答している児童・生徒の割合が6割程度であることから、学校全体として教師と子どもとのよりよい関係づくりや児童・生徒に対する相談機能を高めていくことが必要である。

■現状・課題

小・中学校ともに人の役に立つ人間になりたいと思っている児童・生徒が多い。一方で、地域や社会のために何をすべきか考えている児童・生徒は少ないことから、貢献したい気持ちを大切にしながら、地域と連携した授業を積極的に取り入れ、学習をおとして地域や社会のためにすべきことを考える経験をさせることが必要である。



家で自分で計画を立てて勉強している、学校の授業時間以外に3時間以上勉強していると回答した児童の割合は、生徒の割合よりも高い。また、小・中学校とも授業時間以外の勉強時間が1時間より少ないと回答している児童・生徒が一定数いる。家庭学習は小・中学校ともに本市の課題であり、今後各学校の推進状況や取組を共有し合い、小・中学校で連携して改善していくことが必要である。

■現状・課題

小・中学校ともに人の役に立つ人間になりたいと思っている児童・生徒が多い。一方で、地域や社会のために何をすべきか考えている児童・生徒は少ないことから、貢献したい気持ちを大切にしながら、地域と連携した授業を積極的に取り入れ、学習をおとして地域や社会のためにすべきことを考える経験をさせることが必要である。

■グラフの見方

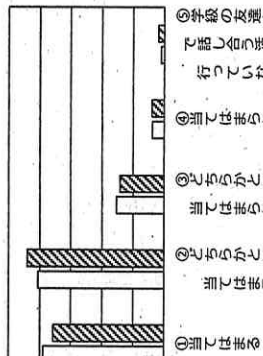
左（青）の棒グラフ…小学校6年生児童
右（赤）の棒グラフ…中学校2年生生徒

表中の①～④は、児童・生徒質問紙において、①「当てはまる」、②「どちらかといえば、当てはまる」、③「どちらかといえば、当てはまらない」、④「当てはまらない」と回答したそれぞれの児童・生徒の割合を示している。

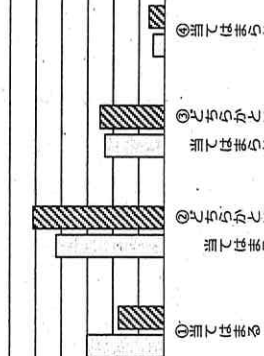
令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてⅢ 児童質問紙(学習に関すること)

■ 学び方に関すること

学級の児童・生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

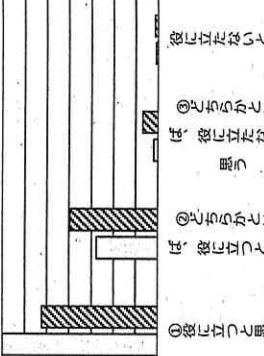


学習した内容について、分かった点や、よく分かった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

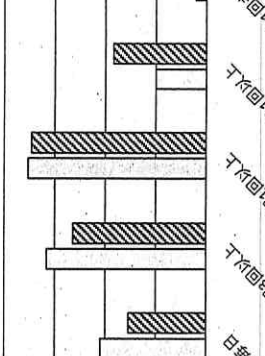


■ ICTに関すること

学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



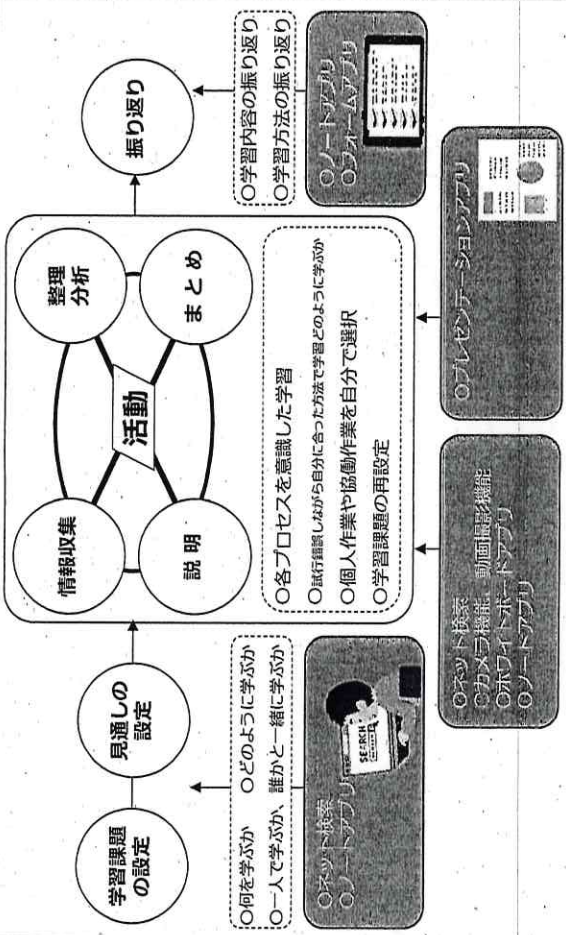
(小学校5年生まで/中学校1・2年生のどき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



■ 現状・課題

小・中学校とともに学習の中でICT機器を使うことは勉強に役立つと回答している児童・生徒が多い。一方で、学校におけるタブレット端末の使用は、小・中学校ともに、週1~3回以上が6割程度、月1回以上が1割程度である。また、学校の授業時間以外でICT機器を勉強のために30分以上使っている児童・生徒は3割程度である。これらことから、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICTを活用しながら、授業改善を図るとともに、各学校においてタブレット端末の持ち帰りを励行することが必要である。

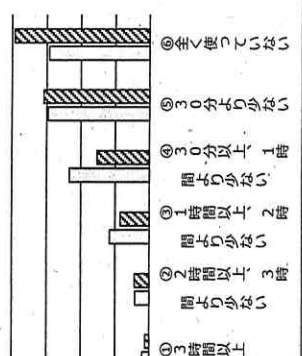
■ ICTを活用した授業改善の例



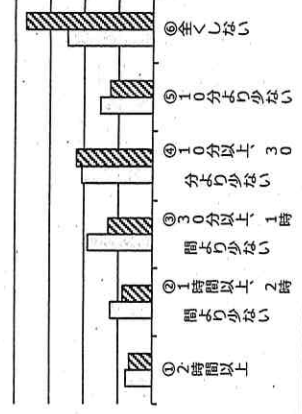
■ 現状・課題

小・中学校とともに話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできていない児童・生徒が多い。一方で、小・中学校とともに学習内容を見直し、次の学習につなげていると回答している児童・生徒の割合が下がっている傾向にあることから、毎時間の授業の導入において見直しをもつとともに、終末において学習内容を振り返る学習活動を充実させる必要がある。

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書や参考書、漫画や雑誌は除く)



■ 現状・課題

学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上読書していると回答した児童の割合は、生徒の割合よりも高く、全く読書しないと回答している生徒の割合は児童の割合よりも高い。「図書館を使った調べる学習コンクール」の取組など、今後も図書館との連携を進め、読書活動の推進を図る必要がある。

